



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東  
 コード番号 3600 URL http://www.fjx.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)山本 和良 (TEL)075(463)8111  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,640	5.5	7	△79.6	9	△73.0	△7	—
25年3月期第1四半期	1,555	△0.7	38	—	36	—	1	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 252百万円(229.5%) 25年3月期第1四半期 76百万円(529.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△1 15	—
25年3月期第1四半期	18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	10,816	8,763	76.3
25年3月期	10,517	8,601	77.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 8,252百万円 25年3月期 8,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	12 50	12 50
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0 00	—	12 50	12 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,292	4.9	31	91.7	47	106.3	22	—	3 30
通期	6,636	7.6	39	—	69	—	14	—	2 05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名)―、除外 一社(社名)―
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	7,340,465株	25年3月期	7,340,465株
26年3月期1Q	450,269株	25年3月期	449,433株
26年3月期1Q	6,890,591株	25年3月期1Q	6,892,322株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. 四半期連結財務諸表 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 8
(セグメント情報等) .....	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策による円高の是正や株高を背景として輸出関連企業の収益や個人消費の一部に改善の兆しが見られるなど緩やかな回復基調が続いております。しかし、世界的には欧州債務危機問題や中国経済の減速懸念など不安要素も払拭されません。

当縫い糸業界は、消費者の節約志向も依然根強く、デフレ傾向から脱却できない上に、輸入比率の高い原材料やエネルギーコストの上昇が製造原価を押し上げつつあり、厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、一丸となって日本、中国をはじめ、アジア市場を中心に諸課題に取り組み、その成果も徐々に現れつつあります。これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,640百万円(前年同期比5.5%増)となりました。

しかし利益面は、依然デフレ傾向の続く当業界で、輸入原材料価格やエネルギーコストの上昇、中国子会社における人件費の上昇やアジア事業全般の先行的な経費負担などもあって、営業利益は7百万円(前年同期比79.6%減)、経常利益は9百万円(前年同期比73.0%減)、四半期純損失は7百万円(前年同期は1百万円の利益)となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントごとの業績は次のとおりです。

#### 日本

国内景気は全般的には緩やかな回復基調にあり、高額品を中心とした一部に消費回復の動きも見られますが、所得環境の改善が浸透しない状況の中で、生活必需品の価格が上昇傾向となっていることから、消費者の節約志向は根強く、衣料品の国内縫製も依然低調で、手作りホビー関連の消費も回復の兆しを感じられません。

当社グループは、国内事業においては、販売シェアの拡大、手作りホビー需要の掘り起こし、円高是正に伴う海外市場向け輸出の拡大等に注力しましたが、当セグメントの売上高は、1,286百万円(前年同期比0.8%増)にとどまりました。

また利益面につきましては、販売競争が激しくデフレ傾向が依然続く現状に加え、国内の先行的な経費負担や製造コストの上昇傾向により、セグメント損失は31百万円(前年同期は17百万円の損失)となりました。

なお、当社グループにおいては、事業年度の末日を、当社は3月末日、国内子会社は1月末日と定められており、当第1四半期累計期間には、当社の平成25年4月から6月まで、国内子会社は平成25年2月から4月までの業績が連結されております。

## アジア

当セグメントに属する当社グループの海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第1四半期累計期間には、平成25年1月から3月までの業績が連結されております。

当期間のアジア地域の縫製につきましては、中国における様々なリスクを回避するために、より安価で豊富な労働力が期待されるアセアン諸国への分散傾向が続いております。

当社グループは、中国においては、衣料用のみならず自動車関連分野にもすそ野を広げ、引き続ききめ細かなサービスや高い品質を武器に販売努力を続けました。また平成23年にはタイに持分法適用関連会社を、昨年にはベトナムに連結子会社をそれぞれ設立するなど、アセアン諸国に分散する縫製市場への対応も進めつつあります。これらの結果、当セグメントの売上高は、353百万円(前年同期比26.9%増)となりました。

しかしながら、利益面につきましては、中国の人件費の上昇や円安傾向の影響、アジア事業拡大のための先行的な経費負担もあって、セグメント利益は30百万円(前年同期比28.3%減)となりました。

なお、平成23年にタイ国サハ・グループとの合弁で設立した販売会社 FUJIX INTERNATIONAL Co., Ltd. は、持分法適用関連会社につき、同社の損失のうち、当社の持分相当額は営業外費用の持分法による投資損失として計上されているため、当セグメントの売上高及びセグメント利益に影響はありません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて298百万円増加し、10,816百万円となりました。主な増減は、流動資産では、現金及び預金の減少166百万円、受取手形及び売掛金の増加167百万円、たな卸資産の増加99百万円、固定資産では、有形固定資産の増加21百万円、投資その他の資産の増加82百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて136百万円増加し、2,052百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加38百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて162百万円増加し、8,763百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の減少97百万円、その他有価証券評価差額金の増加60百万円、為替換算調整勘定の増加141百万円、少数株主持分の増加58百万円などがありました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期連結業績につきましては、わが国の個人消費や、中国をはじめとするアジア各国の経済の先行きは不透明ながら、平成25年5月14日に公表いたしました平成26年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,701,163	2,534,268
受取手形及び売掛金	1,394,206	1,561,282
たな卸資産	2,892,320	2,991,873
その他	96,620	180,812
貸倒引当金	△8,746	△9,179
流動資産合計	7,075,563	7,259,057
固定資産		
有形固定資産	1,795,436	1,817,363
無形固定資産		
その他	184,430	194,637
無形固定資産合計	184,430	194,637
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,467,491	1,549,890
貸倒引当金	△5,111	△4,589
投資その他の資産合計	1,462,379	1,545,300
固定資産合計	3,442,246	3,557,301
資産合計	10,517,809	10,816,358
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	570,702	609,546
未払法人税等	46,152	45,704
賞与引当金	66,492	28,264
移転損失引当金	95,602	105,030
その他	423,823	497,314
流動負債合計	1,202,774	1,285,860
固定負債		
長期借入金	41,070	65,501
退職給付引当金	83,286	77,609
役員退職慰労引当金	174,637	173,232
資産除去債務	20,330	20,348
その他	394,237	430,058
固定負債合計	713,561	766,751
負債合計	1,916,336	2,052,611

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	758,014
利益剰余金	6,276,511	6,178,945
自己株式	△106,429	△106,697
株主資本合計	7,851,421	7,753,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	235,586	296,140
為替換算調整勘定	61,491	202,585
その他の包括利益累計額合計	297,078	498,726
少数株主持分	452,974	511,432
純資産合計	8,601,473	8,763,746
負債純資産合計	10,517,809	10,816,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,555,282	1,640,848
売上原価	1,070,887	1,155,500
売上総利益	484,394	485,348
販売費及び一般管理費	446,043	477,539
営業利益	38,350	7,808
営業外収益		
受取利息	1,427	3,227
受取配当金	7,993	10,600
受取奨励金	6,551	250
その他	5,206	8,010
営業外収益合計	21,178	22,088
営業外費用		
支払利息	1,016	965
為替差損	9,915	14,501
有価証券評価損	7,388	—
持分法による投資損失	3,824	3,402
その他	868	1,182
営業外費用合計	23,014	20,051
経常利益	36,515	9,845
特別利益		
固定資産売却益	—	66
特別利益合計	—	66
税金等調整前四半期純利益	36,515	9,911
法人税、住民税及び事業税	10,269	8,181
法人税等調整額	16,413	△274
法人税等合計	26,683	7,907
少数株主損益調整前四半期純利益	9,832	2,004
少数株主利益	8,582	9,936
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,250	△7,932

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,832	2,004
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,767	60,554
為替換算調整勘定	88,025	187,365
持分法適用会社に対する持分相当額	2,648	2,941
その他の包括利益合計	66,906	250,861
四半期包括利益	76,738	252,866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,159	193,715
少数株主に係る四半期包括利益	30,578	59,150

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,276,285	278,997	1,555,282	—	1,555,282
セグメント間の内部 売上高又は振替高	96,394	124,839	221,233	△221,233	—
計	1,372,679	403,836	1,776,515	△221,233	1,555,282
セグメント利益又は損失(△)	△17,778	42,747	24,968	13,381	38,350

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額13,381千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,286,880	353,968	1,640,848	—	1,640,848
セグメント間の内部 売上高又は振替高	99,795	142,155	241,951	△241,951	—
計	1,386,675	496,124	1,882,800	△241,951	1,640,848
セグメント利益又は損失 (△)	△31,988	30,663	△1,324	9,132	7,808

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額9,132千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。